

社会医療法人母恋の使命「医療人として組織として社会に貢献する」

目次

- 2023年 年頭のご挨拶 2～3
- 地域がん診療連携拠点病院としての日鋼記念病院 ... 4～5
- 栄養通信〈アーカイブ〉 6
 - 風邪予防～食べる、寝る、あたためる！
- 母恋インフォメーション 7
 - 着任医師のご紹介
 - WEBがんサロン ほっとほ一むに参加してみませんか？
 - 社会医療法人 母恋（胆振地域）の年末年始
- 日鋼記念病院発 医療・健康情報 8

今月の
スナッヅ



こんにちは赤ちゃん

2023年のお正月に当院で誕生したベビーたち。
いろんな経験をして、すくすく育ててね！



2023年 年頭のご挨拶



社会医療法人母恋
理事長
有賀 正

新年明けましておめでとうございます。
皆様にとって素晴らしい一年になります様、心より祈っております。

2020年3月11日にパンデミック宣言されたCOVID-19の蔓延は、早くも3年を迎えようとしています。この3年間、我々の日常行動には様々な影響が及びましたが、我々はこの間に多くのことを学びました。今年こそコロナが終息し、コロナ前の日常への回帰となる年になって欲しいものです。

昨年は、国内では安倍晋三元首相の暗殺、国外ではプーチン大統領指導によるロシアのウクライナ侵略と、あっと驚くような忌まわしい出来事が起きました。どちらも国内外で大きな影響を引き起こし、二極化した議論を展開させています。詳しくは述べませんが、2022年という年は、後年、大きな節目の年として記憶に残ることは間違いありません。一方、サッカー・ワールドカップ・カタール大会での日本代表の活躍によって、分断しかかっていた国民が一致団結して応援することができました。素晴らしい活躍とこのような機会を作ってくれた日本代表の選手全員に“ブラボー”です。今春のワールド・ベースボール・クラシックでの日本代表の活躍にも期待したいと思います。

日鋼記念病院では、昨年4月から高橋弘昌先生が新院長として赴任し、病院運営を担当していただいております。コロナ禍が続いている昨今、なかなか厳しい経営状況ではありますが、「心機一転」、病床再編などこれまで実施できなかった種々の案件に着手し、病院内に新しい風が吹き始めております。ポストコロナにおける病院経営、医師の働き方改革、三病院の再編を含めた地域医療構想の進め方など、課題は山積ですが、高橋院長、全職員ともども、社会医療法人母恋の理念を抱きながら難問を乗り越えていきたいと思っております。

本年もよろしくお祈りいたします。皆様のご多幸をお祈りいたします。



日鋼記念病院
院長
高橋 弘昌

新年明けましておめでとうございます。令和5年を迎え、皆さまには健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。地域の皆様のおたかなご支援のもと、日鋼記念病院は今年も無事に新年を迎えることができました。

昨年、室蘭市は、開港150年、市制施行100年を迎え、盛大な記念式典が催されました。しかし、社会環境を見ますと経年的な基幹産業の縮小により、1970年に最高16万人であった人口は、2022年10月現在78,000人弱までに減少しています。それとともに人口の少子高齢化が急激に進んでおり、住民の健康保持・疾病治療の諸問題が表面化しております。少子高齢化の問題は、全国的な問題であり、その対策の一つとして北海道においても地域医療の再編が少しずつではありますが、進んでいます。遠くならず当地域においても避けては通れない課題と思われれます。

ウィズコロナからアフターコロナとなる時期を渴望していますが、感染力の強い新型株の出現やワクチンの効果不足、経口治療薬開発・普及の遅れなどがあり、以前のような生活にいつ戻れるのかは予測不可能な状況です。私たちにできるのは、これまで通りの日常の感染予防の実践です。また冬期間においてはとくに十分な室内換気が重要とされています。

当院は、地域がん診療拠点病院として手術療法・放射線療法・化学療法を軸とした標準治療を行うとともに早期からの緩和ケアの実施、患者相談支援機能の充実など質の高いがん治療を実践しています。また地域周産期母子医療センターであり、西胆振医療圏で唯一のNICU（新生児集中治療室）では、低体重児や先天性疾患を持つ新生児への専門医療を24時間体制で行っています。

今後とも益々進む人口減少、少子高齢化の社会環境の中で、西胆振地区・室蘭市になくはならない病院として最新の知識と技術に基づき、地域住民の皆様の健康保持、疾病治療のために透明性の高い、良質で信頼される医療を実践し続ける所存です。本年も皆様方のさらなるご支援を何卒宜しくお祈り申し上げますとともに皆様方のご多幸を心よりお祈り申し上げます。



副院長
小野 暁

皆様、あけましておめでとうございます。

日鋼記念病院は昨年4月に高橋新院長を迎えて、新たな体制のもとに更なる医療サービスの充実にむけての再スタートを切りました。時代は刻々と変化し、医療をめぐる状況も大きく変わりゆく中、従来の業務の良いところは継続し、改善すべき所は見直しや修正を行いながら、地域の皆様にとってより良い医療環境となるよう努力いたしますので、今後とも当院を見守り応援していただければと存じます。新型コロナの状況も、3年の時間が経過する中でウイルスの変異などと共に変化してきており、国や自治体のトップや専門家達の意見や判断のみを頼りにせず、医療現場のみならず社会全体がこの感染症とどう付き合っていくのが良いのかを個々に模索しながら過ぎていく段階に入ったと感じております。先日サッカーのワールドカップで、結果は惜しいところではありますが、皆がチームを応援し、選手達も最大限それに応えて頑張ってくれたことを体験しました。コロナとの闘いも、地域一丸となってこれに向き合い、その中で当院も大きな役割を發揮できるよう尽力したいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



副院長
益子 博幸

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

2022年も新型コロナウイルスの勢いは止まらず、当院でもクラスターが発生するなど、地域の皆様には大変なご心配とご迷惑をおかけいたしました。当初確認されたウイルスと比較して、現行のオミクロン株は感染時の症状は比較的軽いとは言うものの、様々な規制緩和と、衰えないウイルスの感染力により、未だ多くの感染者が発生しています。

最小の感染拡大に抑えるため、そして、そもそも当院においてクラスターを発生させないためにどうしたらよいかを考え実践しながら、職員一丸となって診療に取り組んでおります。地域に根差したよりよい医療を、平時と変わらず皆様にご提供できるようまい進していく所存です。

2023年も引き続き、何卒よろしくお願いいたします。



副院長
榎並 宣裕

新年明けましておめでとうございます。

令和五年の新年を、皆様はどのように迎えられたでしょうか。

昨年も新型コロナウイルス感染症はウイルス変異を繰り返しながら多くの感染者を生じ、社会を混乱させました。当地でも多くの医療機関が幾度となく機能不全に陥りました。当院においても通常の医療を継続するべく、高橋新院長のもと病院一丸となって種々の対策を講じていますが、時に診療制限を余儀なくされています。

昨年は新たな市場がイタンキに開設し、春には市長選があります。ウィズコロナの状況は続いても、地域に新しい風が駆け抜け、少しでも明るいものになるよう願わずにはられません。

本年も皆様にとって健やかな1年となりますよう、祈念いたします。



副院長/看護部長
斉藤 亜希子

新年あけましておめでとうございます。

2022年は、感染拡大、戦争、物価上昇など嫌なニュースばかりが目立つ年でした。日鋼記念病院も、新型コロナウイルスの感染拡大でクラスターが発生し、診療制限等で地域の皆さまにご迷惑をおかけしました。今年度は、明るいニュースの多い年になることを願い新年を迎えました。

社会医療法人母恋は、全世代型地域包括ケアシステムのケアが提供できる施設があります。地域の人たちが安心して生活できるように支援し、地域の皆さまに寄り添った看護を目指してまい進していきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

地域がん診療連携拠点病院 としての日鋼記念病院

毎年2月4日は
ワールドキャンサーデー

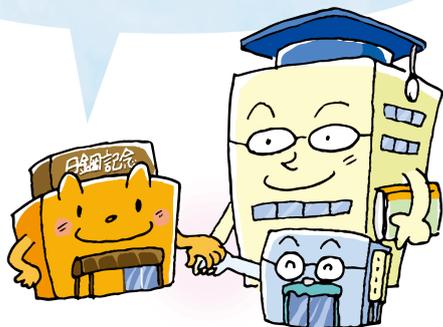
世界中で人々が『がん』の
ために一緒にできることを
考え、行動を起こす日です。

2022年12月に、当院は地域がん診療連携拠点病院に指定されてから15年となりました。指定後、治療はもちろん、様々な活動がスタートし、たくさんの地域の方々が参加されてきました。今回は地域がん診療連携拠点病院についての当院の様々な取り組みを、WEBページをご案内しながらご紹介します。

地域がん診療連携拠点病院とは

全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、全国にがん診療連携拠点病院を408箇所、地域がん診療病院を45箇所が指定されています。がん診療連携拠点病院の区分の中の1つが「地域がん診療連携拠点病院」で、**西胆振では当院のみが指定**されています。

日鋼記念病院は2007年12月に
地域がん診療連携拠点病院に指定！



様々なスタッフが患者さんを支え、寄り添い、共に歩みます

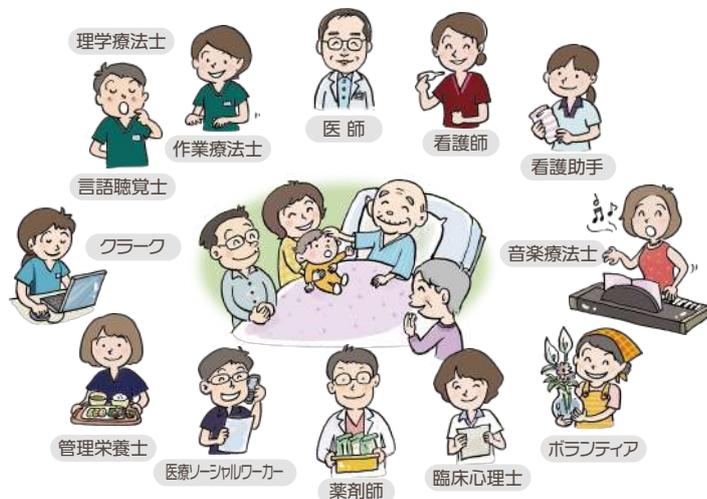
毎週月曜日に患者さん一人ひとりのより良い治療を目指し、内科・外科をはじめとする各診療科の医師・コメディカルスタッフが議論を行います（カンサーボード）。



また、医師やコメディカルスタッフによる診療のみならず、医療ソーシャルワーカーによる相談支援、そしてボランティアの方々や音楽療法士による活動など、様々なスタッフが患者さんを多方面から支えます。

地域がん診療連携拠点病院の役割

- 専門的ながん医療の提供
 - 地域のがん診療連携の協力体制の構築
 - がん患者に対する相談支援及び情報提供
 - 地域のがん診療に携わる医療従事者に必要な研修を行う
 - 自施設の課題に対して組織的な改善策を講じる
- など



当院の地域がん診療連携拠点病院としての活動などを ホームページで発信しています

当院のホームページでは、当院の地域がん診療連携拠点病院としての様々な活動や当院でのがんの治療について詳しく紹介しています。患者さんやそのご家族だけでなく、年齢として“がん”が気になってきたという方もぜひご覧ください。

※ 各項目のQRコードを読み込むと、WEBページをご覧いただくことができます。

がん治療に
ついて



日鋼記念病院のがん治療



当院では西胆振の拠点として手術療法・放射線療法・化学療法を軸とした標準治療に準拠します。また、2021年に導入したAI大腸内視鏡システム「EndoBrain-EYE」や、早期からの痛みと苦痛を和らげる治療「緩和ケア」の実施、歯科口腔外科・耳鼻咽喉科・形成外科の連携についてなども掲載しています。



大腸がんは日本人男女ともに第2位の多さ。
AI大腸カメラにより病変部位の精密な診断を実施しています。

がんサロンの開催



がんと診断された時から、患者さんやご家族の皆様が抱く精神的な辛さや社会的な苦しみを共有したりすることで、不安な気持ちも和らぎます。当院では2012年よりがんサロンを開催しており、コロナ禍の2020年にオンラインで開催するWEBがんサロンとなりました。

WEB開催から2年4か月
たくさんの方にご参加いただきました！

- 匿名参加・聴くだけでもOK
- 自分の体験や気持ちを共有しましょう
- ご自宅からスマホ・PCで参加しよう



詳しい参加方法はP.7およびP.8をご覧ください

がん患者さんへの支援



当院の医療福祉相談室には、がん相談支援センター内に『患者サポート窓口』を設置しており、がんの治療や毎日のくらしの不安・相談などを受け付けています。



がん専門相談員が
対応いたします

がん検診



健診センターではPET/CTがん検診をはじめ、様々ながん検診に対応しています。オプション追加で自分だけのプランに。

講演会・研修会など

地域の皆様へ向けた講演会だけでなく、医療従事者への啓蒙や研修会を開催し、地域全体におけるがんに対する意識を向上させるべく様々な活動が行われています。

1月21日(土) 緩和ケア研修会を開催予定

※ 締切済み。医療従事者を対象とした研修会です。

研修会の様子は、2月号の日鋼記念メディカル情報で報告します！



冬本番のこの時期、体調を崩していませんか？

「風邪に負けない体づくり」の基本はバランスの良い食事と十分な睡眠としっかり防寒。

今月は、身体の中からあったか、ほっこりメニューです。

大根 まとめ 知識

古くから「すずしろ」と呼ばれ親しまれてきた大根。

淡白な味わいながら、生・加熱・漬けるなど様々な調理方法で楽しめる七変化食材です。

大根は生で食べると体を冷やしますが、加熱すると体を温めてくれるので冬のあったかメニューには欠かせません。



大根の葉はビタミンCの他、皮膚や粘膜を保護するビタミンAやカルシウム、鉄分も豊富です。

免疫力を高めるビタミンCが豊富！皮に近い部分に多いので、皮つきのまま、食べる直前におろすことをおすすめします。

根の部分は消化を助け、胸焼け・胃もたれに効果のある酵素が含まれています。解毒作用もあるので、かぜの初期の発熱やのどの痛みによいとされています。

からだぽかぽか つみれ入りみぞれ汁

材 料 (2人分)	・大根	100g
	・長ネギ	10cm
	・鶏肉のつみれ	6個
	・だし汁	2カップ
	・酒	大さじ1
	・めんつゆ(3倍濃縮)	大さじ2
	・おろし生姜	小さじ1/2
	・大根(仕上げ用)	150g

1人分
エネルギー

143kcal

塩分

2.2g



- 作り方**
- ① 大根は薄い ちょう切り、長ネギは斜め切りにする。
 - ② 鍋にだし汁と①の大根を入れて、火にかけ透明になるまで煮る。
 - ③ 酒、めんつゆ、生姜を入れて軽く煮立ったら、鶏肉のつみれを入れる。
 - ④ 仕上げ用の大根をおろしておく。
 - ⑤ 鶏肉のつみれが煮えたらネギを入れ、最後に大根おろしを汁ごと入れる。
 - ⑥ 器に盛ったら完成。七味唐辛子などを加えるとぽかぽか効果が高まります！お好みで春雨を入れるとボリュームアップも！

※ 鶏のつみれは市販のゆず皮入りのものを使用しました。

『母恋インフォメーション』では、当法人のニュースやトピックス、お知らせなどを掲載いたします。

● 着任医師のご紹介

1月1日より、新たに着任された医師をご紹介します。



産婦人科 伊野真名美 (いの まなみ) 医師
札幌医科大学 2018年(平成30年)卒

杉山芽先生の後任として着任しました。どうぞよろしく申し上げます。

● WEBがんサロン ほっとほーむに参加してみませんか？

医療ソーシャルワーカー、緩和ケア認定看護師や心理療法士や同じ悩みを抱える患者さんとそのご家族と話をし、不安や辛さを分かち合いませんか。

参加方法 スマートフォン、タブレット、パソコンにあらかじめ『Zoom(ズーム)』をインストールしてください。

お申込み 下記もしくはQRコードのフォーム

お問合せ がん相談支援センター 志摩
TEL 0143-22-2225 (直通)

次回開催
2月1日
(水)

ほっとほーむの
決まり事をご覧の上
ご参加ください



WEBがんサロン
ほっとほーむ

● 社会医療法人 母恋（胆振地域）の年末年始

12月の当法人では、病棟や施設内では年末年始に向けた様々な行事や飾りつけなどが行われました。その一部の様子をお届けします！



日鋼記念病院発 医療・健康情報

WEB がんサロン 『ほっとほーむ』



ご参加お待ちしております

対象者 北海道内にお住いの方(ご家族も可)

開催時間 2月1日(水) 13:30~14:45
途中15分間の休憩を挟みます

申込締切 2月1日(水) 10:00 [詳しくはこちら](#)

使用アプリ Zoom **参加費** 無料

お問合せ がん相談支援センター
TEL 0143-22-2225 (担当:志摩)



FM77.6MHz ラジオ健康プラザ

放送時間 毎週月曜日 8:05頃放送

84.2
MHz

1月16日 いきいき健康レシピ
1月23日 医療トピックス
1月30日 イカワが行く!
2月 6日 医療トピックス
2月13日 医療トピックス



※番組内容は予告なく変更する場合がございます
日鋼記念病院ホームページ「ラジオ健康プラザ
ライブラリー」でバックナンバー公開中です



wi-radio のインターネット放送が始まり **FM77.6MHz** の番組が
77.6MHz パソコン、スマホで聴けるようになりました!

Listen Radio **リスラジ** で検索! **wi-radio** 77.6MHz を選局!

SNS好評配信中!



Instagram インスタグラム

日鋼記念病院 地域周産期母子医療センター



@NIKKO_KINEN

助産師さんが赤ちゃん・病棟の様子や、
出産・育児にまつわる情報を紹介!



Twitter ツイッター

日鋼記念病院 公式Twitter



@NIKKO_KINEN

休診情報・いち早くお伝えしたい情報の
ほか、病院の様子をお届け中。Twitter
だけの情報も……!?



YouTube ユーチューブ

日鋼記念病院チャンネル



健康生活にまつわる情報を随時更新して
まいります!
YouTubeで「日鋼記念病院」を検索



緩和ケア病棟



その他、ピンクリボン in 日鋼記念病院
(乳がんセルフチェック他)、Happy
Days - お家で学ぶ
両親学級 - など好評
配信中です。

新型コロナウイルス 感染拡大防止の取り組み

引き続き、ご協力をお願いします

ご来院
の際は

- ▶ 手洗い・マスク着用および検温
- ▶ ソーシャルディスタンスのお願い

編集後記

皆様、あけましておめでとうございます。2023年最初の日鋼記念メディカル情報をお届けしました。表紙のにっこう君イラストでお分りの通り(?)今年卯年。元気いっぱい飛び跳ねるウサギのように、当院も広報誌も「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」とより良い医療と情報を提供できるよう頑張ります。今年も1年よろしくお祈りします。(カンダ)

発行 社会医療法人 母恋



日鋼記念病院

〒051-8501 室蘭市新富町1丁目5番13号

TEL 0143-24-1331 (代)

FAX 0143-22-5296

e-mail koho@nikko-kinen.or.jp

ホームページ https://www.nikko-kinen.or.jp

編集 広報誌編集委員会 委員長 山田康弘